

第7回ふじみ野市教育振興計画策定委員会 会議録

敬称略

招集日時		令和6年10月18日 午後6時30分			
開会日時		令和6年10月18日 午後6時30分			
閉会日時		令和6年10月18日 午後7時30分			
開催場所		ふじみ野市役所第2庁舎 3階B301会議室			
委員長		木村 浩則			
委員出席状況	氏 名		氏 名		出席職員
	木村 浩則	出	大塚 祥子	欠	教育総務課長 内田 和明
	榎本 崇	出	玉田 康雄	出	学校教育課長 石川 聖徳
	抜井 由美子	欠			学校給食課長 山崎 純
	前谷 正弘	欠			社会教育課長 木村 裕之
	越川 直樹	出			教育総務課係長 田島 輝
	大久保 昭男	出			教育総務課主任 澁谷 岳美
	市来 久美子	出			
	土岐 幸司	出			
	石井 ナナエ	出			
傍聴人数		0人			
会 議 概 要					
議 事 等					
1 開会 2 議事 (1) 計画案（修正版）の確認 ア 総論・各論 イ 用語解説 3 その他 4 閉会					
(午後6時30分) 教育総務課長 事務局		皆様、こんばんは。ただ今から、第7回ふじみ野市教育振興計画策定委員会を開催させていただきます。 まず、事務局から配布資料の確認をさせていただきます。 (資料の確認)			

教育総務課長	次に、本日の欠席者についてです。 本日は、抜井委員、前谷委員、大塚委員が都合により欠席となっておりますので、ご報告させていただきます。 また、本日の会議は、過半数の 8 名の委員に出席を頂いておりますので、「ふじみ野市教育振興計画策定委員会条例」第 6 条の規定により成立している事を申し添えます。 次に会議の公開についてです。 本会議につきましても開かれた市政を推進するため、「ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則」に基づき原則公開としておりますが、傍聴者はございません。 それでは、以降につきましては、ふじみ野市教育振興計画策定委員会条例 6 条の規定により、委員長が議長となることになっておりますので、木村委員長に議事の進行をお願いいたします。
木村委員長	本日は、計画素案を確定する予定になっております。 これまでは、項目ごとにご意見・ご指摘をいただき、次回会議に修正案を確認という流れで会議を進めて参りましたが、本日は、計画案の最終確認・確定という段階になります。修正した箇所を中心に、計画全体について、最終確認をいただければと思います。 その中で、ご指摘事項があれば、修正案をみなさまに承認いただいて確定させていくような進め方になります。皆様に御協力を頂きながら、会議を進めてまいりたいと思います。 それでは、議事 1 計画案（修正版）の確認のうち、総論・各論部分について、事務局から説明をお願いします。
事務局	総論・各論部分のうち修正箇所を中心にご説明させていただきます。 3 ページをご覧ください。中央部分の四角に「第 4 期教育振興基本計画」、「第 4 期埼玉県教育振興基本計画」と記載しております。前回お配りした資料には、それぞれ「国」、「県」と標記しておりましたが、以前の会議でもご指摘いただきましたが、「第 4 期教育振興基本計画」は「政府」が策定しており、また名称で違いがわかることから、「国」、「県」の標記を削除しました。 次に、39 ページの基本理念をご覧ください。

	ウェルビーイングについての説明を修正しました。子供たちのウェルビーイング実現のために必要なことやそのために必要な教師のウェルビーイングの確保が、学校や教育に携わる者だけでなく社会全体のウェルビーイングに繋がっていくことについて追記しました。また、巻末の「用語解説」において、更に詳細な説明を追記しました。 次に、４９ページの施策２、施策の展開と取組をご覧ください。（１）の６つ目の項目についてです。文章の構成から「ＬＧＢＴＱとヤングケアラーを早期発見」と読み取れてしまうことから、「ヤングケアラーについては早期発見」という文言を追加し修正しました。 ５０ページの（５）の４つ目の項目のうち、「チーム学校」という表現が分かりにくいいため、「チームとしての学校」に修正しました。また、（６）の「校内チーム」という表現についても、「校長や教頭、担任などで構成する校内の対策チーム」に修正しました。 次に、６７ページの施策の目標について、社会教育事業の一層の発展のため地域学校協働活動ネットワークを活用することについて、１つ目と２つ目の項目を追記しました。それに伴い、次の６８ページ施策の展開と取組（１）の１つ目の項目にも「地域学校協働活動ネットワークを活用」という表現を追記しました。 その下の（２）２つ目、３つ目の項目は、講座や体験等について、表現を修正しました。 主な修正箇所の説明は、以上となります。
木村委員長	ただいま、事務局から説明がありました内容につきまして、確認事項等がありましたらご質問をお願いしたいと思います。
石井委員	資料がカラーになって、とても見やすくなったと思います。
事務局	２２ページのアンケート結果のグラフと凡例の色が異なっています。
石井委員	修正いたします。計画書自体の印刷はモノクロとなります。 １０ページで児童生徒数の推移では、児童生徒数が減少しているようですが、１１ページの教職員数の推移で教職員数が増えているのは何故でしょうか。 また、中小企業で働く人々の平均年齢は、４０代の方が多いようですが、教職員の場合は２０代と３０代が多いのは、何故でしょうか。

学校教育課長	教職員数の増加については、小学校の学級定員が段階的に35人に引き下げられたことにより、学級数が増加し、教員が配置され、結果として教職員が増加しているためです。 また、平均年齢については、団塊の世代の教員の大量退職により、若い世代を大量に採用したことから、このような傾向になっています。
石井委員	52ページの主な具体的事業、日本語適応指導員の派遣の取り組みのところで、母国語での支援や補助と記載されていますが、昨今では、インドネシアやパキスタン、バングラデシュ、ネパールの方等が増えてきており、その母国語と日本語の両方ができる方がいない状況だと思いますので、母国語という表現は当てはまらないかと思います。
学校教育課長 榎本副委員長	「日本語習得の支援や補助」というような形に修正します。 50ページ（6）教育相談の充実の6つ目の、赤字の部分で、職名として校長や教頭、担任と記載されていますが、各学校には教育相談主任という職があり、その職員が教育相談に係る諸会議を主催していますので「教育相談主任」も入れていただけるとありがたいです。
学校教育課長 土岐委員	そのように修正させていただきます。 54ページの主な関連指標、不登校児童生徒の出現率で、基準値が「小学生」、「中学生」の表記で目標値が「小学6年生」、「中学3年生」で違っていますが、何か意図があるのでしょうか。
学校教育課長 土岐委員	目標値の表記が誤りで、正しくは「小学生」、「中学生」となります。そのように修正致します。算出方法は全体の平均となります。
事務局	先ほどモノクロでの印刷とありましたが、計画書はどういった形で配布する予定でしょうか。 計画書は白黒で印刷した冊子となります。計画書の概要版はカラーで印刷する予定です。 また、ホームページへの掲載分は、カラーで閲覧できるようにする予定です。
越川委員	先程、修正箇所についていくつか説明がありましたが、他の部分についてもどういった指摘がありと修正した・しなかったという部分がありますか。
事務局	今回は、修正箇所の多い部分をいくつか抜粋してご説明させていただきます。

	きました。また、皆様からご指摘いただいた部分については、全て見直しを行っているところです。
木村委員長	よろしいでしょうか。
	次に用語解説について、事務局から説明をお願いします。
事務局	用語解説をご覧ください。 1 ページ目の「ウェルビーイング」につきましては、基本理念の部分でも説明させていただきましたが、基本理念における「ウェルビーイング」の考え方を詳しく解説する形で、こちらに追記させていただきました。 5 ページの生成 A I につきましては、補足説明を追記しております。 7 ページ及び 9 ページの「P T A」について、保護者のみの組織のような表現になっておりましたので、見直し修正しました。 その下の「一人一台端末」につきましては、新たに説明を追加しました。 更にその下の「プログラミング」につきまして、本日、配布しました差し替え版をご覧ください。正しい用語説明になっていなかったため、差替版の赤字部分のように修正させていただきました。 説明は以上です。
木村委員長	ただいま、事務局から説明がありました内容につきまして、確認事項等がありましたらご質問をお願いしたいと思います。
	英語については、説明が 2 か所出てくるのでしょうか。
事務局	五十音順とアルファベット順で 2 回掲載しております。
石井委員	例えば用語の中で、地域学校協働活動、地域学校協働ネットワーク、地域協働学校、地域学校協働推進活動など、色々とやっていることは分かりますが、用語集のほか、図での説明があると、より分かりやすくなると思います。
教育総務課長	スペースやレイアウトの問題もございますが、載せる方向で検討させていただきたいと思います。
榎本副委員長	1 ページ目の「いじめ見逃しゼロ連絡協議会」というのは本市のみが持っている組織です。用語解説を見た時に、国・県の施策なのか、市の施策、組織なのかが分かりにくいので、市独自のものについては、明示

	した方が良いのではと思います。「いじめを未然に防止するための施策を検討する市の組織」というような記述の方が、ふじみ野市独自の組織ということが、よく伝わると思います。 また、２ページ目のＡＬＴの解説について、「外国語活動」となっていますが、新しい学習指導要領では外国語活動と外国語科になりましたので、「外国語活動・外国語科」というように入れていただければ正確な表記になるかと思います。
教育総務課長 大久保委員	そのように修正いたします。 ９ページのＰＴＡについてですが、他の単語には略す前の英語が掲載されていますが、ＰＴＡも掲載した方がよいのではないのでしょうか。
教育総務課長 越川委員	そのように修正いたします。 用語集なので、最初の用語の説明に関しては、必ず体言止めにしていただきたいです。例えば、少人数指導支援員の説明では、「少人数のための支援や一人一人の子供に合わせた学習支援を行う。」と記載されていて、「行う。」というのと「少人数指導支援員」はイコールではありません。用語集なので、そういう名詞等とイコールで結ばれないとおかしいので、必ず体言止めしていただきたいです。
教育総務課長 土岐委員	全体的に見直しのうえ修正いたします。 ６ページ一番上のＳｏｃｉｅｔｙ ５．０は、何社会なのかがよくわからないので、他と同じように当てはめられる言葉があった方がよいのではないのでしょうか。
教育総務課長	確認のうえ修正いたします。 ただいま、用語解説のところでご指摘いただいた点につきましては、この場で確定するのは難しいので、もう一度事務局で整理し、改めてご確認いただく形としたいと思います。よろしくお願いいたします。
木村委員長	他にいかがでしょうか。 それでは、前回からの修正部分につきまして、議事は以上で終了となります。 この内容で計画素案が確定となりますが、みなさん、その他のご質問やご意見等はよろしいでしょうか。 では、その他について事務局より説明をお願いします。

事務局	本日もありがとうございました。 まず、次回会議予定についてお知らせします。 第8回の最終会議につきましては、令和7年1月30日（木）午後3時から、市役所第2庁舎3階B301会議室で開催予定です。先日通知させていただきましたとおり、1月31日（金）から変更しておりますので、ご注意ください。事前に資料等を郵送で送付させていただきます。
教育総務課長	今回で一つの区切りとなるような形になります。皆様方には、計画策定のため、令和5年度には4回、今年度にはこれまで3回、計7回に渡りましてご審議いただきまして誠にありがとうございました。 会議発足時には、委員同士の皆様の意思の疎通を図ることを目的に自主的に交流会を開催いただきまして、委員の繋がりを大切にしながら、将来の市の教育のため、毎回熱のこもった議論を頂戴したところでございます。 今後の予定としましては、来週のエducation委員会会議で計画案を報告し、11月19日には総合教育会議という市長主宰の会議での協議を経まして、12月10日頃から、パブリックコメントを実施する予定でございます。 引き続き、次回会議では、パブリックコメントの意見に係る修正案等をご審議賜りたいと思いますのでよろしくお願い致します。 秋の深まりとともに昼夜の寒暖差も大きくなってきているところでございます。皆様方には、どうぞご自愛いただきまして、引き続き教育行政の推進のため、ご支援を賜りますよう事務局を代表いたしまして、お礼申し上げます。どうもありがとうございました。 その他については以上となります。
木村委員長 榎本副委員長	それでは、榎本副委員長より閉会の言葉をお願いします。 本日も大変ありがとうございました。 令和5年から足かけ2年間に渡り、この新しい計画のために、様々な皆様のお力を借りながら教育の話ができたことが大変嬉しく、また楽しい時間となりました。今後、パブリックコメントにより、この計画案が多くの方の目に触れ、様々なご意見がいただけるものかと思っ

(午後 7 時 3 0 分)	おります。また、皆様にお会いできることを楽しみにしております。 それでは、これで第 7 回策定委員会を終了いたします。 ありがとうございました。
----------------	---